

令和 7 年 8 月 29 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 エラヒ美砂子

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 外国人労働者の就労実態について

答弁を求める者 市長

1 当見附市においても 少子高齢化が進み、労働力において社会システムを維持するには外国人労働者の受け入れが不可欠です。

技能実習制度が 1993 年に開始されました。制度の背景には日本の企業で必要な技術を学び、帰国後にその技術を生かして母国の経済発展に役立てる国際貢献を目的とされるという意義のもと始まりました。技能実習制度の前身は、「研修制度」です。当初は海外に拠点を持つような大企業だけが、研修制度の対象でした。

中小企業でも人手不足が顕著になり、海外拠点を持たない企業でも海外人材を受け入れようという動きが活発になりました。

1990 年には団体管理型による研修生受け入れが開始され、現地法人を持たない中小企業も受け入れが可能になりました。この時は、国会での議論もなく民意の形成なしで始まってしまったことで、制度としての目的もあやふやとなり、今に続く制度の悪い印象の原因になったといわれています。

さまざまな問題をはらんだ制度を改善するために、法改正が行われ、これにより技能実習生はすべての期間で労働保護法の対象となり、また不正行為への厳罰が定められたため、待遇は大きく改善されましたが、技能実習制度に代わる新たな制度、育成就労制度になる予定です。

育成就労制度は 2024 年 6 月 14 日に可決・成立した改正出入国管理法などによって創設され、2027 年までに施行される新制度です。これまでの技能実

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイ



習制度が抱えていた問題点（目的と実態の乖離、人権侵害など）を改善し外国人の育成と安定的な労働力確保を目的とします。主な変更点として技能実習制度の国際貢献・技能移転から、人材育成と安定した労働力確保の明確化。一定の条件を満たせば転職（転籍）が可能であり、特定技能制度との連携などがあげられます。企業側の対応、受け入れ企業は実習生ではなく労働者として扱い労働契約の明確化が重要となります。

現行の技能実習制度は2030年までに廃止される見込みで、それまでは、新旧制度が併存する移行期間となります。

外国人労働者の受け入れには、人手不足の解消や企業のグローバル化などのメリットがある一方で文化の違いからくるトラブルや日本語でのコミュニケーションがうまくとれないなどの問題があります。現在日本において、外国人労働者数が1番多い国籍はベトナムで、全体の約25%を占めていて、次いで中国です。伸び率でみると中国はほぼ横ばいなのに対し、ベトナム人は2015年から急増。しかし、ここ近年は日本とベトナムの賃金格差が縮まりつつあり、日本で働くベトナム人は減ってきています。

人手不足が深刻な分野ほど、外国人労働者の受け入れが進んでいますが、文化や習慣が違うため、価値観の違いにより、誤解や不信感につながることもあり、外国人労働者の日本語レベルによって、意思疎通がうまくとれないため、会社に採用されても現場に入ると一緒に作業する仲間から疎まれてしまうこともあります。慣れてしまうまで仕事の場面で大変さは続くといえます。日本語の問題だけでなく宗教に対する考え方の違いもあるといえます。

見附市においても、外国人労働者の受け入れは、人手不足の解消や組織の活性化につながっていると思います。多くのそして様々な課題のなか、外国人労働者が飲食店や製造業、建設業などの現場を、一部では支えているといえます。

市内で、外国人労働者が何人かで自転車に乗り道路を走っている姿をよく見かけます。また、市内のスーパーマーケットでは、集団で食料を買っているところを見かけたりします。先日、5～6人で買い物をしていた外国人の若者に話しかけたところ、自分たちはスリランカから見附に来ていると笑顔

で答えてくれました。家族に会いたい、一緒に暮らしたいと本音を話してくれましたが、これからも見附で仲間と頑張って働くとのこと。見附市民として、生活者としての受け入れをし、孤立させない取り組みが必要と考えます。

見附市に在住する外国人労働者について以下お伺いします。

- (1) 見附市において、外国人労働者の就労実態を把握されていますか。どこの国が多いか、実態及び課題があればお伺いします。
- (2) 見附市において、外国人労働者に対する災害時の情報伝達や安否確認等、現状の取り組みと課題をお伺いします。
- (3) 見附市における外国人労働者についてきた児童生徒に対してのサポート体制が必要かと思いますが現状をお伺いします。